

情 報 公 開 文 書

研究の名称	培養綿棒および組織検体における細菌検出率の比較検討
研究代表機関	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・職名および氏名)	富山大学 学術研究部医学系 整形外科・運動器病学 教授・川口善治
①試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	この研究は富山大学臨床・疫学研究等に関する倫理審査委員会の承認および研究機関の長の許可を受けて実施しています。 【研究の目的・方法】 骨や関節、筋肉などの感染症では、原因となる細菌を見つけることが、適切な抗菌薬（抗生物質）を選ぶために重要です。しかし、実際には感染していても細菌が検出されないことがあります。 この研究では、手術や創部の処置の際に採取する組織と、輸送培地付き綿棒、ドライ綿棒の3種類の検体について、どの方法が細菌を最も見つけやすいかを比較します。また、検体を採取してから培養検査を開始するまでの時間が検査結果に影響するかについても調べます。 【研究期間】 研究実施許可日から 2031 年 3 月 31 日まで 【研究対象者】 研究期間に骨や関節、筋肉などの感染症が疑われ、当院で細菌培養検査を目的として手術または創部の処置を受ける患者さんです。 【研究資金、利益相反の状況】 富山大学微生物学講座および整形外科科学講座の講座研究費を資金とします。 利益相反はございません。 【個人情報の取扱い】 利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。 【研究結果の公表の方法】 学会、学術雑誌等で発表いたします。 【試料・情報の他機関への提供有無】 無
②利用又は提供する試料・情報の項目	【試料・情報の項目】 試料は、骨や関節、筋肉などの感染症が疑われた際の通常診療で採取する創部（検体）に加え、研究用に同じ部位から組織を採取します。

	情報は、以下の項目です。 患者背景：年齢、性別、身長、体重、臨床診断、既往歴、病歴、抗菌薬投与歴 臨床経過：感染部位、発症時期、手術内容、検体採取日時、培養開始日時、抗菌薬治療内容、治療経過 臨床検査結果：血液検査、微生物学的検査、画像検査所見（単純 X 線、CT、MRI 等） 検体情報：検体の種類（組織、関節液、輸送培地付きスワブ、ドライスワブ）、検体採取から培養開始までの時間、培養結果
③利用又は提供を開始する予定日	【利用を開始する予定日】 研究実施許可日
⑦試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	富山大学附属病院長 山本善裕
⑧研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨	研究対象者に関する試料・情報を当該研究に用いること（他の研究機関への提供も含む。）に対して、拒否をご希望される場合や研究資料（研究計画書及び研究の方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲で入手・閲覧を希望される場合は、以下の窓口へご連絡ください。 電話番号：076-434-7353 FAX：076-434-5035 E-mail：seikei@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名：整形外科・医員 近藤美穂